

# 66 鶴ヶ池の森



## 1. 森林の状況

面積：14ha

標高：700～780m

森林の種類：人工林93%、天然林7%

主な樹種：スギ・ヒノキ・クヌギ（針葉樹93%広葉樹7%）

林齢：25～125年

制限林の指定：

室生・赤目・青山国定公園 昭和45年

## 2. 水源の状況

種類：ため池貯水（鶴ヶ池）

利用状況：農業用水18戸 16ha

水源の流量：15m<sup>3</sup>/日

## 3. 地域の概況

鶴ヶ池の森は、三重県との県境に近い奈良県の北東部にあり、宇陀川の源流である鶴ヶ池の上流に位置する森です。

明治のはじめ、「水田を作る水がほしい」という住民の願いのもとに、提高15.9メートル、貯水量9万トンの鶴ヶ池を3年の月日と労力を掛け造り、その水を確保するために水源林を造成し育成に努めました。その森が今、100年前後の見事な美林に成長し、溜め池には水が満々とたたえられています。

この池は、全国でも最大級のモリアオガエルの生息地であり、梅雨の時期になると、産卵が始まります。この産卵は樹上で行うという珍しいもので、水面などに張り出した木の枝や水辺の草むらなどに、黄白色でソフトボール大の卵塊を産みます。孵化したオタマジャクシは、樹上から水面へと落ち、カエルとなり山にかえっていきます。

この森の近くには、シャクナゲで有名な室生寺があり、また近くには、室生寺よりも古い歴史をもち、水の神「龍神」祀る龍穴神社もあります。その他数多くの観光地があり、毎年多数の方々が訪れています。

所在地：奈良県宇陀市室生西谷字ヌマ

## 4. アクセス

鉄道：近鉄大阪線「室生口大野駅」下車、タクシーで25分、又は、「三本松駅」下車、徒歩2時間

車：名阪国道「針IC」から45分